

平成21年度 農地・水・環境保全向上対策 桑員地区事例発表会が開催されました



桑名農政環境事務所の河合所長挨拶

平成21年7月1日に桑名市の三重県桑名庁舎において、桑員地区（桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町）で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者など、94名が参加して「平成21年度農地・水・環境保全向上対策桑員地区事例発表会」が開催されました。

この事例発表会は、各活動組織相互の情報交換や意見交換を通じて、各地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図り、地域振興に一層活発に取り組んでいただくことを目的として開催されたものです。

主催者である三重県桑名農政環境事務所の河合正一所長の挨拶に続き、三重県農業基盤室の福岡重栄室長、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の鈴木規男副会長（水土里ネットみえ専務理事）から挨拶がありました。

その後、桑員地区の活動組織より次の発表がありました。

①かれがわふる里活動隊（桑名市）

湿地の草刈、生き物観察会など生態系保全の取り組みやそば種まき・そば打ち体験

②木曽岬農地・水・環境保全向上対策連絡協議会（木曽岬町）

外来種の駆除や農地へのコスモスの植栽

③三和集落資源エコ隊（東員町）

竹炭による水質浄化や鯉の放流の環境向上活動

④東貝野地区を守る会（いなべ市）

獣害対策やカバープランツ（ヒメイワダレソウ）の植栽

⑤大泉の地域環境を守る会（いなべ市）

メダカ池造りや子供会との田植え、稲刈り体験



活動組織の事例発表

⑥どじょう子くらぶ（いなべ市）

生き物調査（ホトケドジョウ）や地域ブランド米の栽培

後半は、発表していただいた6活動組織の表彰（奨励賞）と体制整備構想（案）についての説明がありました。

最後に、活動組織の方から農地・水・環境保全向上対策は平成23年度で終了となっているが、それ以後の事業継続を要望する意見が出されるなど活発な質疑応答や貴重な意見の交換がありました。

事例発表の後、場所を庁舎1階の食堂に移し、各活動組織の交流を深めるため「意見交換会」を行いました。



活動組織表彰



多気町勢和地域資源保全・活用協議会の林会長挨拶

平成21年度

農地・水・環境保全向上対策事業に係る 情報交換会の開催

.....
(多気町勢和地域資源保全・活用協議会 農地・水専門部会)

去る8月5日(水)に多気郡多気町内の13団体を対象にした情報交換会を多気町勢和公民館2F大会議室にて開催し、農地・水・環境保全向上対策に取り組む各活動組織関係者ら約50人の参加を得ました。

多気町勢和地域資源保全・活用協議会の林会長の挨拶の後、平成21年度に新規加入した活動組織の五桂地区「B・E・I」が紹介され、活動組織の河合代表が加入の挨拶を行いました。

その後、農地・水・環境保全向上対策(農地・水向上活動部会)技術研修会に入り、水土里ネットみえの岡課長補佐より、農業水利施設のコンクリート構造物診断と補修(簡易補修等による機能回復手法)と題し、活動組織による自主的な機能診断及び簡単な補修が行えるよう、点検のポイント、初期欠陥の種類や原因の見極め方、簡単な補修工法を説明し、専門業者が専用の被覆材や樹脂、ポリマーセメントなど様々な修復方法を説明しました。

参加者は、自らの地域で自主的な機能診断や簡易補修ができるよう熱心に説明に聞き入っていました。

また、勢和地域事務局の高橋氏が多気町内のカバープランツの施工例を紹介し、その成果

と問題点について説明しました。

参加者からは自らの地域でもカバープランツを施工したいので指導をお願いしたい等の活発な意見が交わされ、身近な内容で大変有意義な意見交換会となりました。



研修の様子